

An architectural rendering of a public square. On the left is a large, multi-story building with a prominent Gothic-style arched window and entrance. The square is paved with a grid pattern and is filled with people of various ages, some walking, some sitting at tables, and some pushing a stroller. In the center, there is a green musical note icon. To the right, there is a park area with many trees and a bus. The overall scene is bright and lively.

狛江市の市民中心の『ほこみち』プロジェクト

こまえ



ほこみち

一般社団法人狛江まちみらいラボ 田代 興大

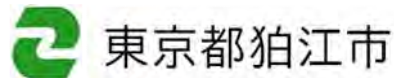
—自己紹介—

田代 興大（たしろ ともひろ）

まちがもっと面白くなる。



一般社団法人 狛江まちみらいラボ
ほこみちエバンジェリスト



狛江市役所
企画財政部 秘書広報室 広報広聴担当主査

- ▶ 2003年に狛江市役所入庁。
- ▶ 入庁後は、介護福祉課→企画経営室→清掃課→安心安全課→
高齢障がい課→秘書広報室→多摩川衛生組合（清掃工場）派遣を経て、
2021年4月から在籍した未来戦略室では“ほこみちプロジェクト”を主に担当。
- ▶ 2023年10月、一般社団法人「狛江まちみらいラボ」の立ち上げに携わる。
- ▶ 2024年7月、秘書広報室に異動
市に兼業申請を出し、市から許可を受けて当法人のほこみち推進に携わる。



— 狛江市の紹介 —

全国で

2番目に
小さな市

面積 6.39km²
(令和7年1月1日)

都内市部で

2番目に
人口密度が高い

12,840人/km²
(令和7年1月1日)

都内区市で

2番目に
犯罪が少ない
(刑法犯認知件数)

3.78件/千人あたり
(令和5年)



東京都狛江市

世田谷区・調布市・川崎市と隣接
新宿駅から小田急線で約20分

粕江市と成城大学との関係について

狛江市と小田急電鉄とのまちづくりの歴史

開かずの踏切消え街が一体化

小田急線高架化



世田谷通りの陸橋

世田谷通りの陸橋（上）の下をくぐる小田急線。奥が高架化工事が進む和泉多摩川駅



一番電車

1998年

立体化一期工事が終了、和泉多摩川駅
から始発電車をバンザイで見送る

80年前の昭和2年に開通した小田原急行鉄道（現・小田急電鉄）は、狛江が農村地帯から市街地へと発展する原動力となった。しかし、戦後になって電車の運行本数が増加し、30年代後半から踏切付近の道路が渋滞、市内に11カ所ある踏切の多くが「開かずの踏切」と呼ばれるようになり、街の南北の分断が問題となった。こうした課題を解消するため、47年には市議会に委員会



を設置するなど、国や東京都へ熱心に働きかけを続けた結果、都による成城学園前駅・登戸駅間約2.4kmの高架複々線化事業が実現。平成元年から9年にかけて約854億円を投じ、沿線の他の地域に先がけて工事が行われた。その結果、4半世紀に及ぶ大きな課題が解決、踏切が消え日常化していた渋滞が解消されただけでなく、駅舎も一新、駅周辺の整備も進み街の姿が一変した。

狛江市と小田急電鉄とのまちづくりの歴史



狛江市と小田急電鉄とのまちづくりの歴史

【狛江駅周辺の移り変わり】



1990年代前半



2020年頃

1980年代後半



狛江市と小田急電鉄とのまちづくりの歴史

【狛江駅周辺の移り変わり】

1980年頃



1995年頃



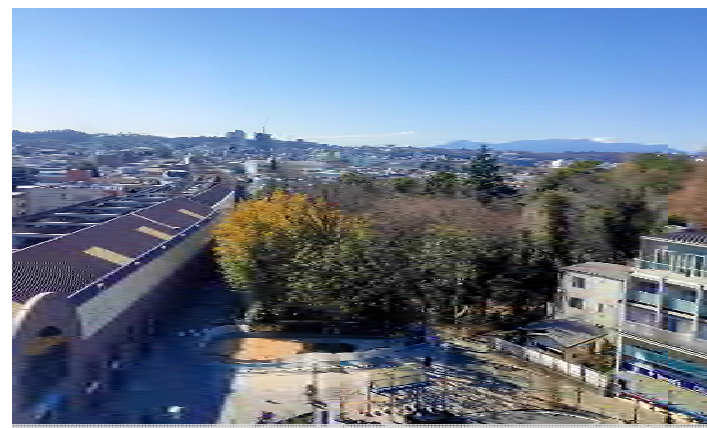
2020年頃



現在の狛江駅北口周辺の様子



交通口一タリ一・えきまえ広場



狛江駅北口の特別緑地保全地区



狛江駅舎



狛江駅改札

狛江市の将来イメージ図

狛江市は、水と緑にあふれたコンパクトなまちであり、
市民同士のつながりが強いまちです。

そのような狛江市において、
これからも住み心地のよいまちであるためには、
どのようなまちづくりが必要だと思いますか？

この計画書には、狛江市に住み、働き、
訪れるみなさんがワクワクでき、
活気あふれるまちとなるよう、
狛江市が考える将来に向けた様々な取組を示しています。

また、このイラストは、
おおむね20年後の狛江市の姿を展望して、
思い描いたイメージです。

みなさんの未来の暮らしや活動がより豊かで、
より幸せなものとなるよう、
狛江市は未来へつなげるまちづくりを進めています。



未来へつなげる 住み続けたいまち

～ 住み心地のよさを実感できるまち 狛江 ～

狛江市都市計画マスタープラン
立地適正化計画より

狛江市のまちづくりの最近のトピックス

市民センター大規模改修事業・新図書館建設事業・狛江駅周辺リ
ニューアル事業を中心とする都市構造再編集集中事業を展開しており、
30年に一度と言われる大規模な公共事業が次々と進行中。



狛江駅周辺リニューアル予想パース



ー 本講座のプログラム ー

- 都市空間の再編の動きについて
- 狛江駅周辺における市民中心の「ほこみちプロジェクト」
- 本講義のまとめ「今後の都市のあり方について」

■ 都市空間の再編の動き 「道路空間はいま転換期にある」

【国内外で「ウォーカブル」なまちづくりへの転換がトレンド】

「ウォーカブル」とは歩きやすく居心地の良い都市空間を作り、賑わいや憩いを作ること。国内外の多くの都市で「車中心」から「人中心」に転換した道路空間の再編の取り組みが進行中

【人々の価値観の変化によって、都市の再編を許容する意識の変化】

新型コロナによる時代の流れを早めたと言われている。人々の価値観の変化によってすでに国が提唱していた「車中心から人中心への転換」が共感されやすくなるなど、都市空間の再編のマインドが高まっている。

【人口減少社会において、道路空間はどのようにあるべきなのか】

道路等の公共的空間が4割を占める都市空間において、道路空間の活用が注目されている。歩きやすく居心地の良い「ウォーカブル」なまち、自分らしくいられる包容力のあるまちづくり（ウェルビーイング）、都市空間に誰でも居心地のよい空間（サードプレイス）、都市の空いている空間（余白）、参加したいときに参加ができる「関わり白」で市民巻き込み型のまちづくりが求められている。

■ 都市空間の再編の動き 「道路空間はいま転換期にある」

【国内外で「ウォーカブル」なまちづくりへの転換がトレンド】

「ウォーカブル」とは歩きやすく居心地の良い都市空間を作り、賑わいや憩いを作ること。国内外の多くの都市で「車中心」から「人中心」に転換した道路空間の再編の取り組みが進行中

【人々の価値観の変化によって、都市の再編を許容する意識の変化】

新型コロナによる時代の流れを早めたと言われている。人々の価値観の変化によってすでに国が提唱していた「車中心から人中心への転換」が共感されやすくなるなど、都市空間の再編のマインドが高まっている。

【人口減少社会において、道路空間はどのようにあるべきなのか】

道路等の公共的空間が4割を占める都市空間において、道路空間の活用が注目されている。歩きやすく居心地の良い「ウォーカブル」なまち、自分らしくいられる包容力のあるまちづくり（ウェルビーイング）、都市空間に誰でも居心地のよい空間（サードプレイス）、都市の空いている空間（余白）、参加したいときに参加ができる「関わり白」で市民巻き込み型のまちづくりが求められている。

■ 都市空間の再編の動き 「道路空間はいま転換期にある」

【国内外で「ウォーカブル」なまちづくりへの転換がトレンド】

「ウォーカブル」とは歩きやすく居心地の良い都市空間を作り、賑わいや憩いを作ること。国内外の多くの都市で「車中心」から「人中心」に転換した道路空間の再編の取り組みが進行中

【人々の価値観の変化によって、都市の再編を許容する意識の変化】

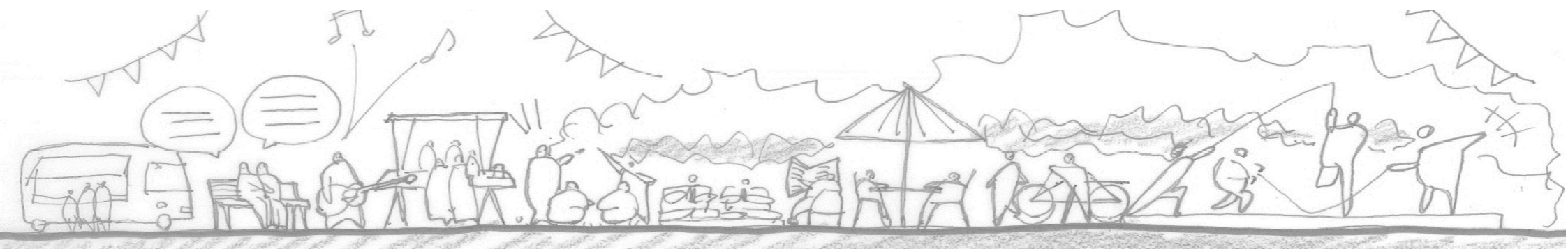
新型コロナによる時代の流れを早めたと言われている。人々の価値観の変化によってすでに国が提唱していた「車中心から人中心への転換」が共感されやすくなるなど、都市空間の再編のマインドが高まっている。

【人口減少社会において、道路空間はどのようにあるべきなのか】

道路等の公共的空間が4割を占める都市空間において、道路空間の活用が注目されている。歩きやすく居心地の良い「ウォーカブル」なまち、自分らしくいられる包容力のあるまちづくり（ウェルビーイング）、都市空間に誰でも居心地のよい空間（サードプレイス）、都市の空いている空間（余白）、参加したいときに参加ができる「関わり白」で市民巻き込み型のまちづくりが求められている。

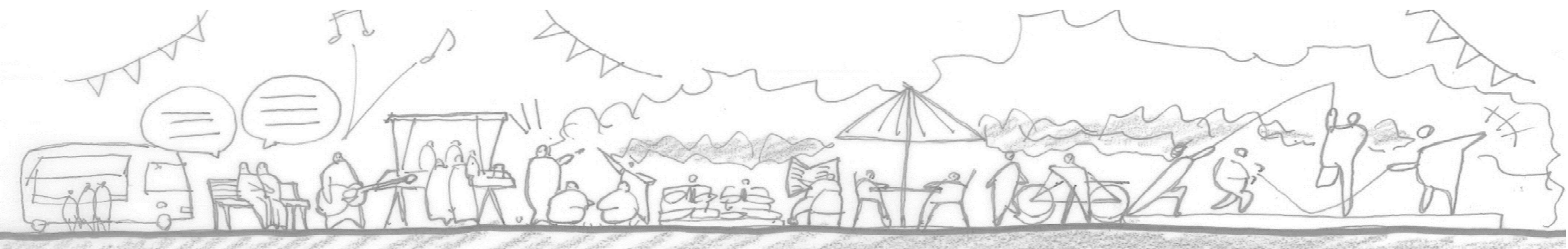
■ ほこみちプロジェクトについて

1. 「ほこみち」とは何か
2. なぜ粕江市はほこみちを導入したのか
3. 市民中心のほこみちの仕組みづくりと仕掛け
4. ほこみちを活用するための運用と体制づくり



■ ほこみちプロジェクトについて

1. 「ほこみち」とは何か
2. なぜ粕江市はほこみちを導入したのか
3. 市民中心のほこみちの仕組みづくりと仕掛け
4. ほこみちを活用するための運用と体制づくり



1. 「ほこみち」とは何か



※ほこみち内に指定された特例区域には、テラスやオープンカフェ等を設置できます。

ほこみちとは

ほこみちは「歩行者利便増進道路」の愛称です。道路を歩行者にとって、もっと安心して歩ける楽しく過ごせる「みち」にしたい、そんな願いを込めました。

なにが変わったの？

これまでの通行を中心とした道路から、人の滞在もしやすい道路空間になります。ほこみち制度により「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間にしたい」など、まちなかの「ほっこり」する空間を創出できます。



(神戸市)



本町通り (敦賀市)



大垣駅通り (大垣市)

<https://hokomichi.jp>

1. 「ほこみち」とは何か

国は道路法改正（令和2年11月25日施行）により歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を創設しました。ほこみち制度を活用すると、道路占用の規制が緩和され、道路占用許可が柔軟に認められやすくなります。具体的には、これまで恒常的な道路占用が認められなかったベンチ、テーブル、ストリートファニーチャー、オープンカフェ、キッチンカー等がその代表例です。

ほこみち制度を活用するためには、道路管理者がほこみちの路線を指定し、一定のバリアフリー基準に満たした歩行通行帯を確保したうえで、歩行者利便増進誘導区域を設定する必要があります。

狛江市では、令和4年からほこみち制度の活用に向けた検討を開始し、令和5年4月にほこみち路線指定し、令和6年2月に第1期エリアを、令和7年2月に第2期エリアを、それぞれ歩行者利便増進区域の指定を行いました。



ベンチ・テーブルの常設



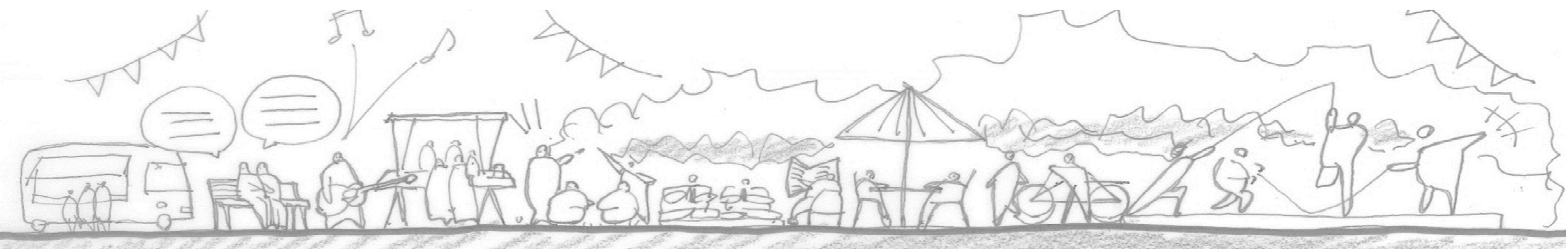
キッチンカー・屋台の出店



オープンカフェ・イベント

■ ほこみちプロジェクトについて

1. 「ほこみち」とは何か
2. なぜ粕江市はほこみちを導入したのか
3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）
4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）



2. なぜ狛江市はほこみちを導入したのか

【背景】

- ① R2～コロナ占用特例活用イベント(泉の森テラス) ……地元住民
- ② R3～小田急線高架下商業施設のリニューアル検討 ……事業者
- ③ 北口ロータリー再開発事業完了から約25年が経過し道路老朽化 ……行政

R1.8 国土交通省よりウォークアブル推進都市の認定を受ける

R4.12 都市計画マスタープラン改訂で狛江駅周辺の活性化を記載

R5.3 道路利活用方針で歩行者利便増進道路制度(ほこみち)の活用を決定



①



②



③

2. なぜ狛江市はほこみちを導入したのか

【背景】

① R2～コロナ占用特例活用イベント(泉の森テラス) ……地元住民



コロナ禍の中、経営的に大きな打撃を受けた飲食店を支援するために創設された「コロナ占用特例」を活かして、地元住民や飲食店が中心となって、駅前の道路空間を活用した屋外イベント「泉の森テラス」が実施された。市も占用手続きや周知等に協力して実現した。

2. なぜ狛江市はほこみちを導入したのか

【背景】

② R3～小田急線高架下商業施設のリニューアル検討 ……事業者



小田急線の連続立体交差事業終了後の平成10年(1998年)にオープンした高架下商業施設「小田急マルシェ狛江」の大規模リニューアルについて検討がなされる。リニューアル計画の大きな柱として、隣接する道路空間も活用して半屋外の滞留空間へとシームレスに繋がる駅前空間の創出を実現するため、小田急と市との官民連携のプロジェクトが始動した。

2. なぜ狛江市はほこみちを導入したのか

【背景】

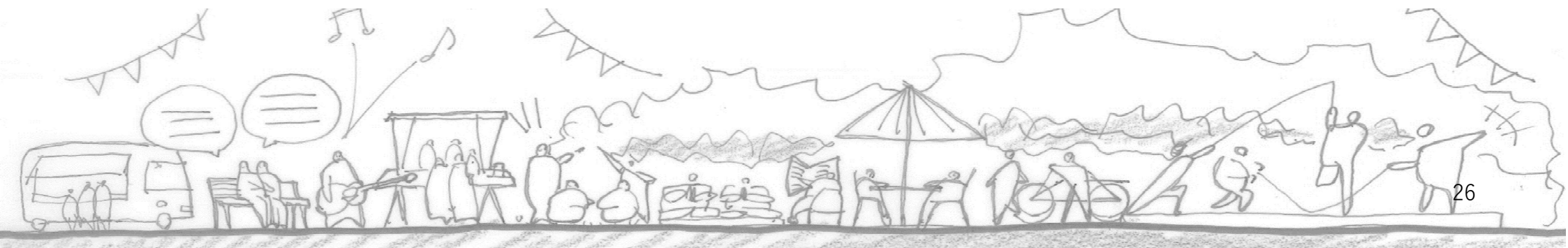
③ 北口ロータリー再開発事業完了から約25年が経過し道路老朽化・・・行政



小田急線の連続立体交差事業をはじめとする狛江駅北口再開発事業（交通ロータリー・地下駐車場・市民ホール整備事業）が終了した平成7年（1995年）から約25年が経過し、道路設備の老朽化が進む。時代の変化とともに、市民等からも車中心から人中心へと転換が求められ始めていた。賑わいがあり、居心地が良い、人にやさしい駅前空間づくりの可能性を模索していた。

■ ほこみちプロジェクトについて

1. 「ほこみち」とは何か
2. なぜ粕江市はほこみちを導入したのか
3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）
4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）



3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

■狛江市における「ほこみち」の導入の主な経過

令和4年6月 狛江駅周辺の快適な歩行空間創出に向けた覚書締結（令和2年包括連携協定に基づく）

令和4年10月 ほこみち実現に向けた社会実験の実施
市民向けアンケート調査実施（10月～12月）

令和5年3月 道路利活用方針策定

令和5年10月 道路改修工事（1期）開始（令和6年3月に終了）

令和5年4月ほこみち路線指定

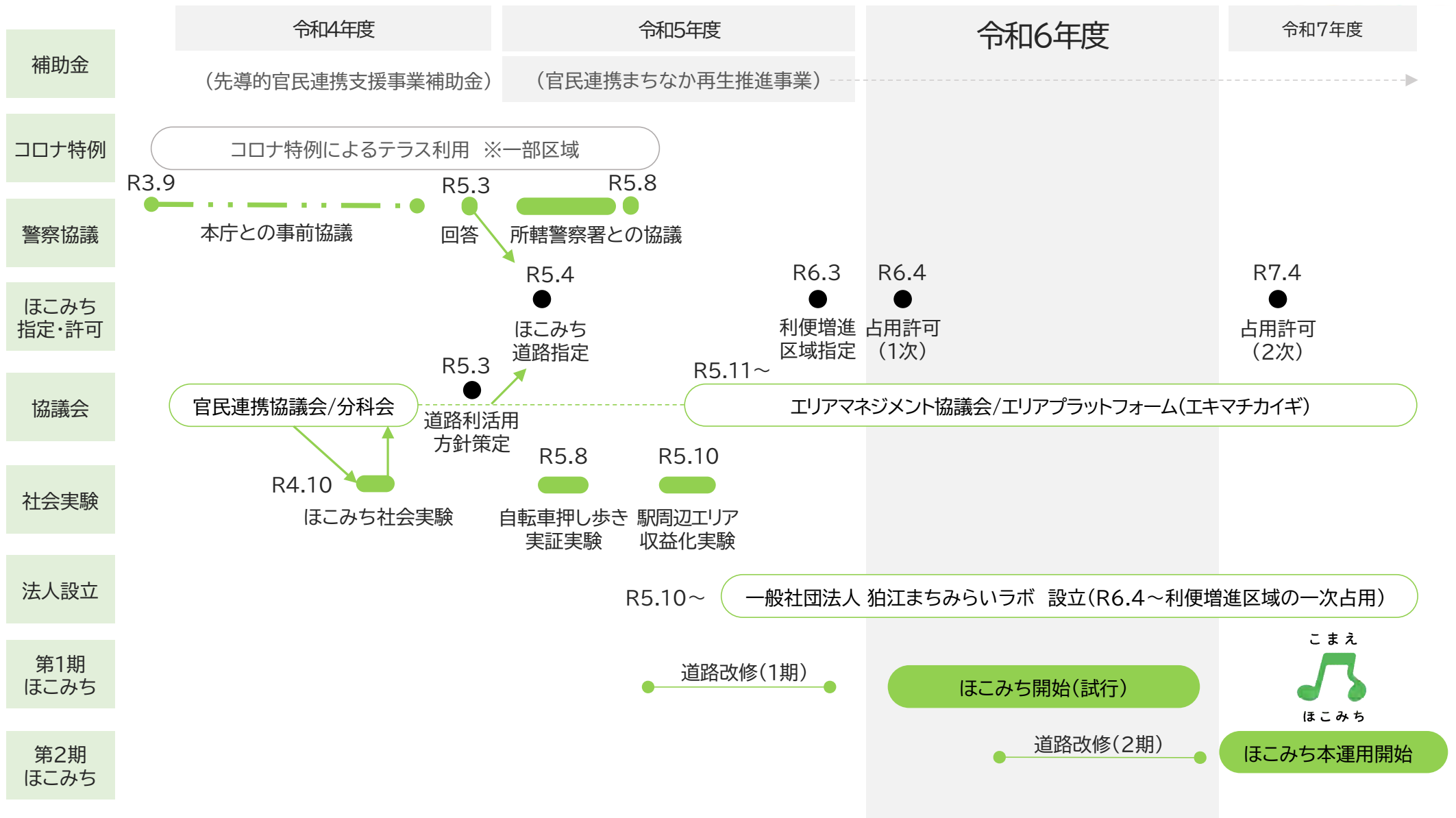
令和6年4月 ほこみちの運用が開始

令和6年2月ほこみち区域指定

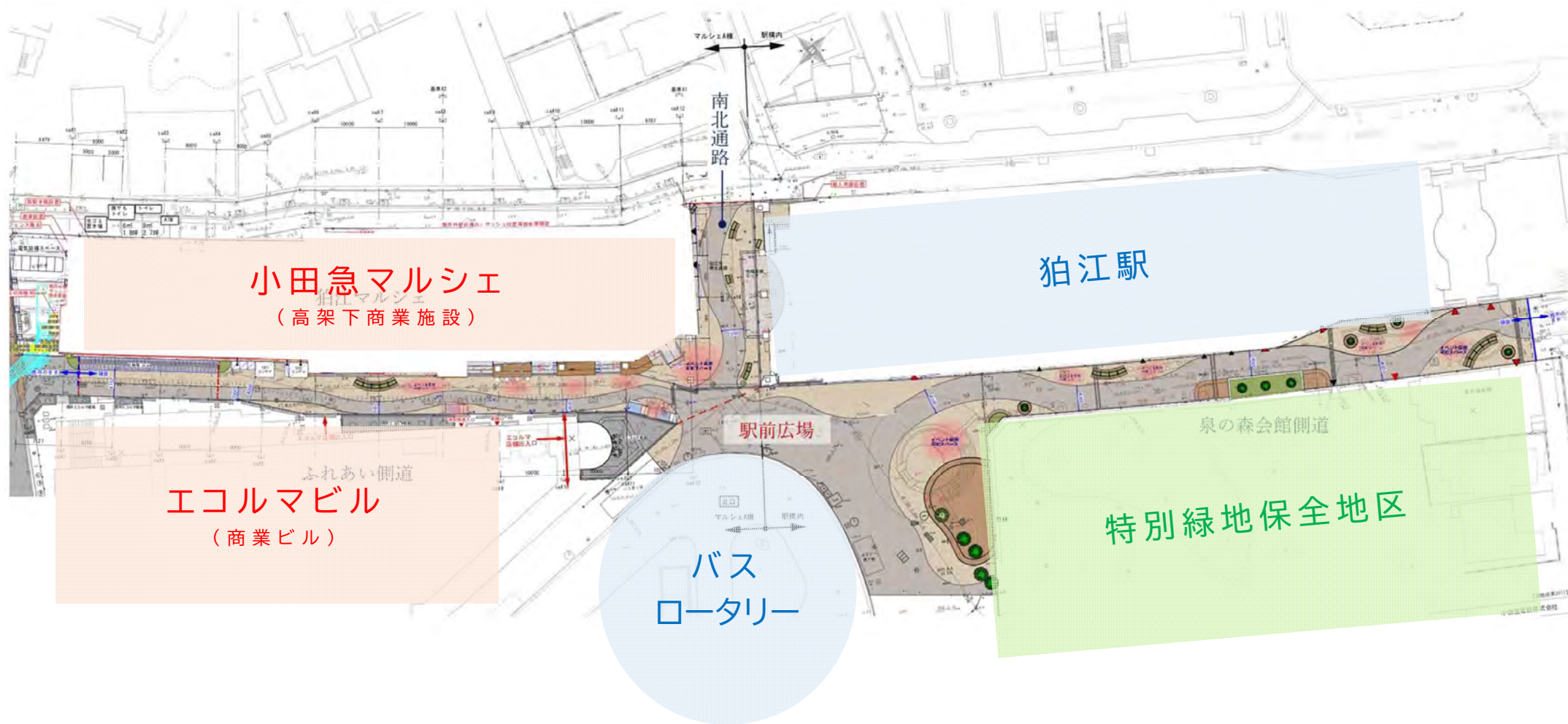
令和6年8月 道路改修工事（2期）開始（令和7年2月に終了）

令和7年4月 ほこみちの全面的な運用が開始

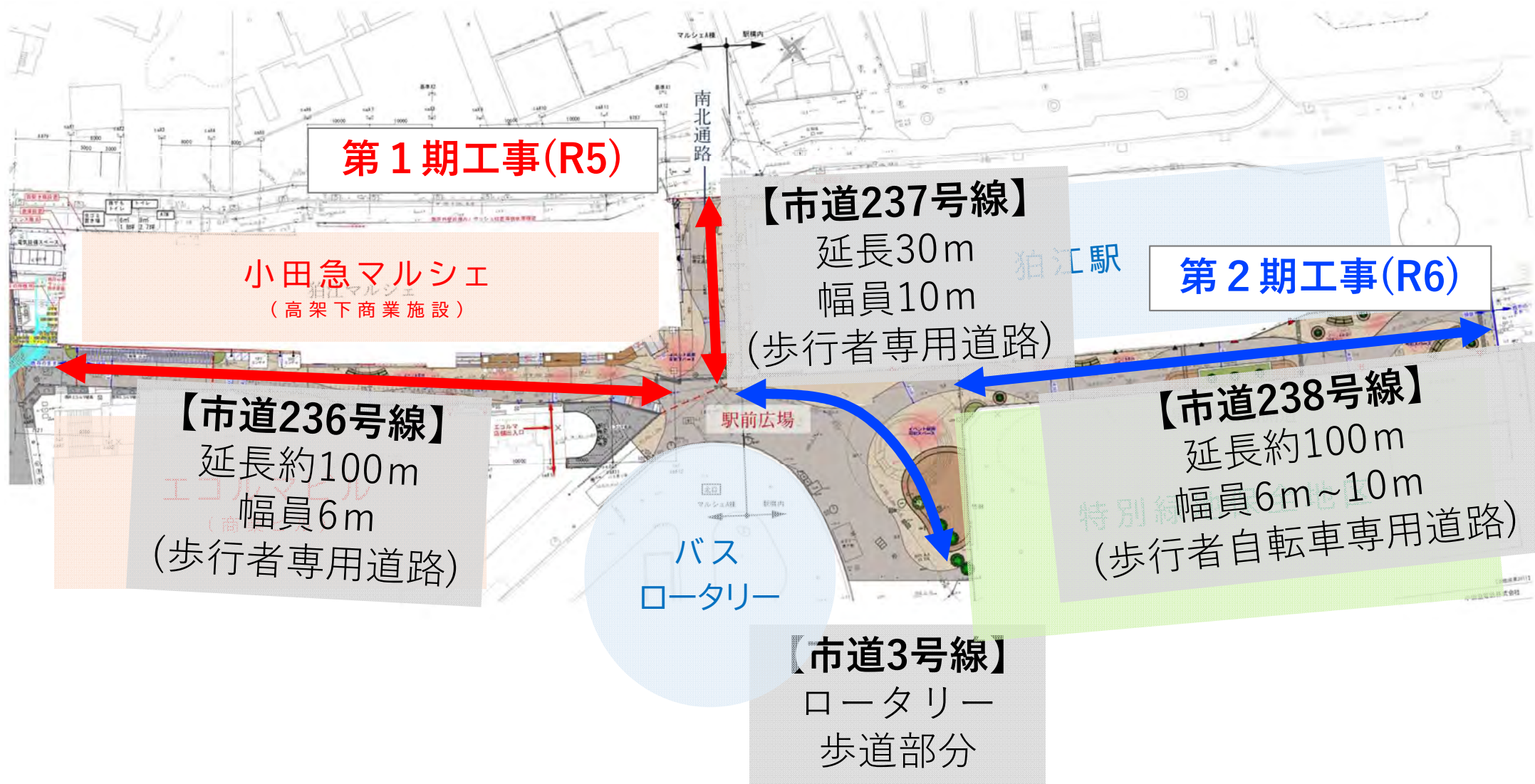
令和7年2月ほこみち区域指定



狛江市のほこみちエリア（狛江駅北口周辺）の全体像



狛江市のほこみちエリア（狛江駅北口周辺）の全体像



3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

こまえのほこみちで目指す姿は



市民が主役のほこみち

ほこみち制度の検討

1. ほこみち社会実験（令和4年10月22日-30日）
2. 自転車押し歩き 実証実験（令和5年8月14日-27日）
3. 狛江えきまち会議（令和5年11月20日-）



3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

① ほこみち社会実験(令和4年10月22日-30日)

- ✓ 駅周辺エリアへの「ほこみち」の導入を見据えて、道路空間の活用可能性と、活動団体の掘り起こし、交通への影響把握等を目的に実施
- ✓ 地域のプレイヤーの皆さんと一緒に、“社会実験分科会”で企画を立案



3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

② 自転車押し歩き（おしチャリ）実証実験（令和5年8月14日-27日）

- ✓ 駅の南北を連絡する通路が自転車と歩行者が交差し、歩行者の安全性に課題
- ✓ 「ほこみち」の導入を機に、『歩行者専用道路』への切り替え



おしチャリ

ビフォー

2か月前



ビフォー

2か月前



ビフォー

2か月前



アフター

8月17日



アフター

8月17日



アフター

8月17日



3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

③ 狛江えきまち会議#1 狛江ほこみちフォーラム(令和5年11月20日)

- ✓ 駅周辺エリアで活動している市内のプレイヤーに呼びかけて、駅周辺の将来ビジョンを検討するエリアプラットフォーム『えきまち会議』を組成
- ✓ えきまち会議のオープニングとして「狛江ほこみちフォーラム」を開催
有識者の基調講演、プレイヤー達のトークセッション、一般参加者との意見交換を実施



この日は50名が参加
以降、市民30名程度が参加して活動

3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

■ 狛江駅周辺リニューアル事業のビフォーアフター

狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和5年7月)



After(令和6年7月)



狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和6年7月)



狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和6年7月)



狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和6年7月)



狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



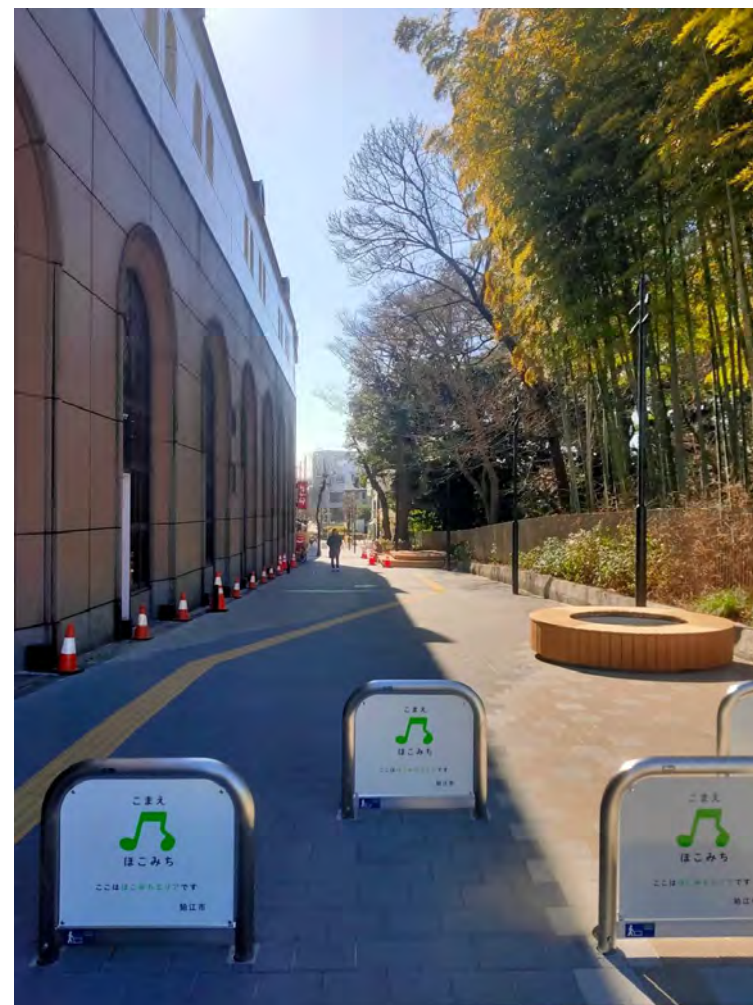
After(令和6年7月)



狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較

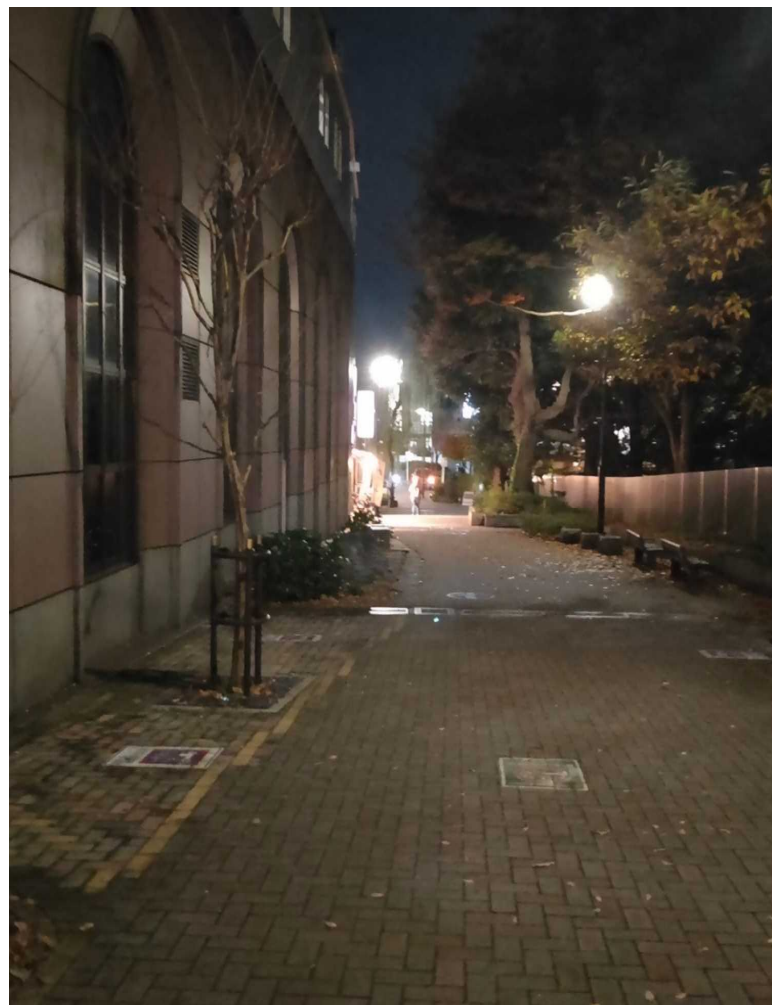


Before(令和4年10月)

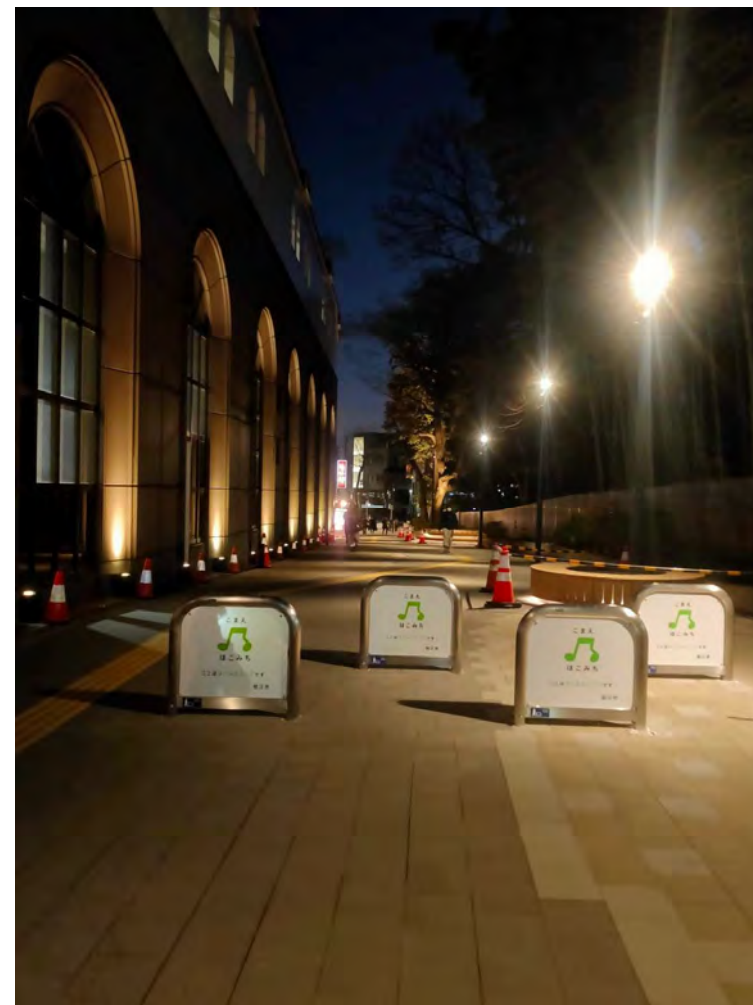


After(令和7年2月)

狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)

狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)

狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)



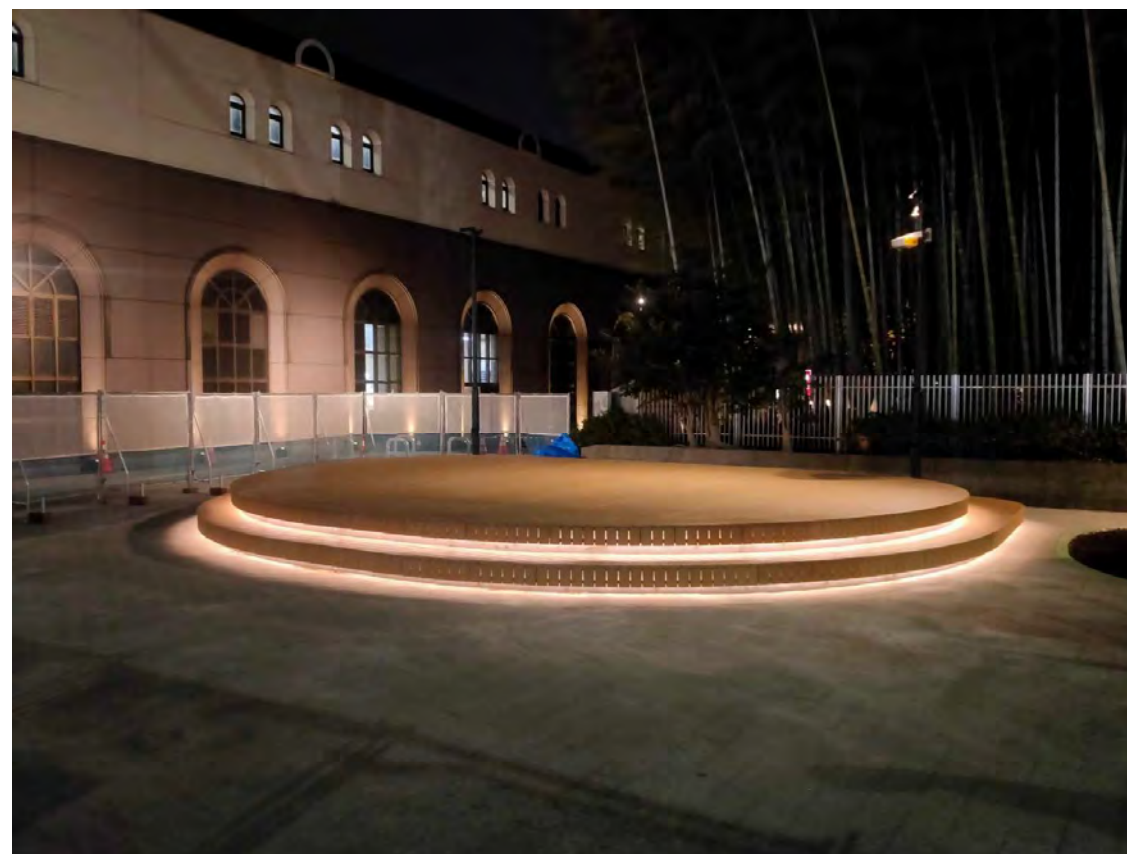
狛江駅周辺道路のリニューアルの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)

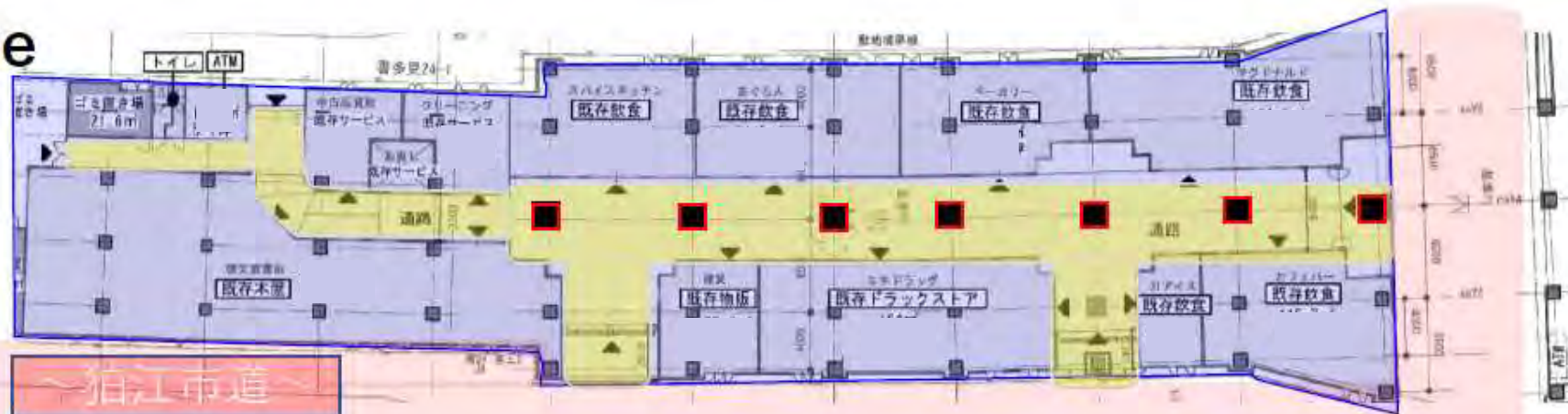


3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）

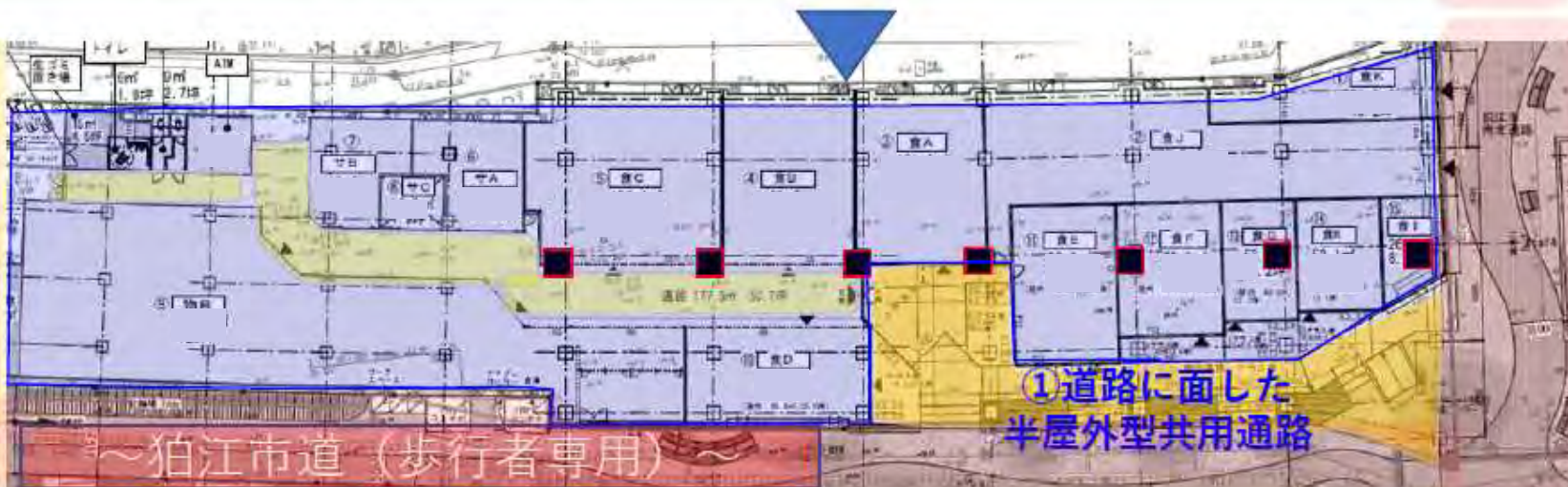
■ 小田急との官民連携事業

小田急線高架下商業施設のリニューアルの前後図面

Before



After



小田急線高架下商業施設と南北自由通路の前後比較



Before(令和5年7月)

After(令和6年7月)



小田急線狛江駅舎に面した歩道改修の前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)

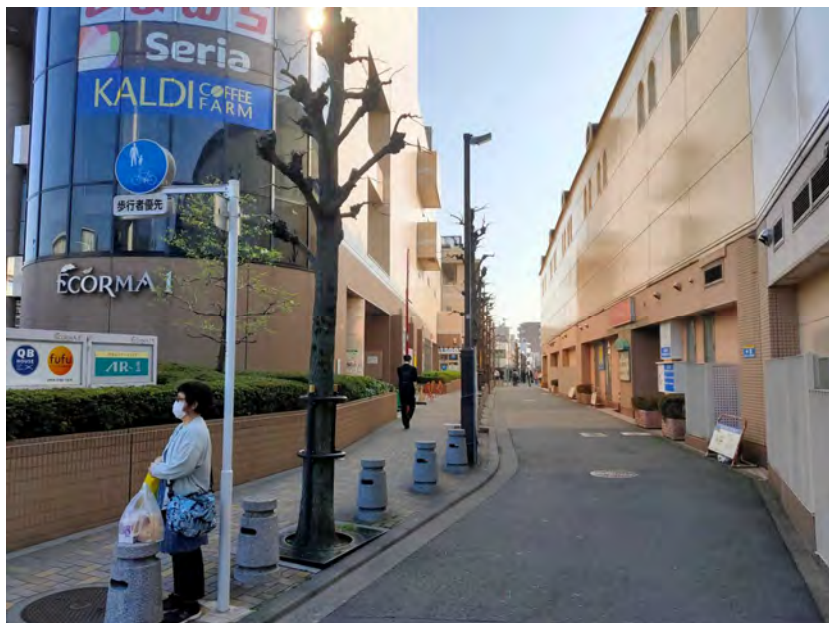


小田急

狛江市

←境界線

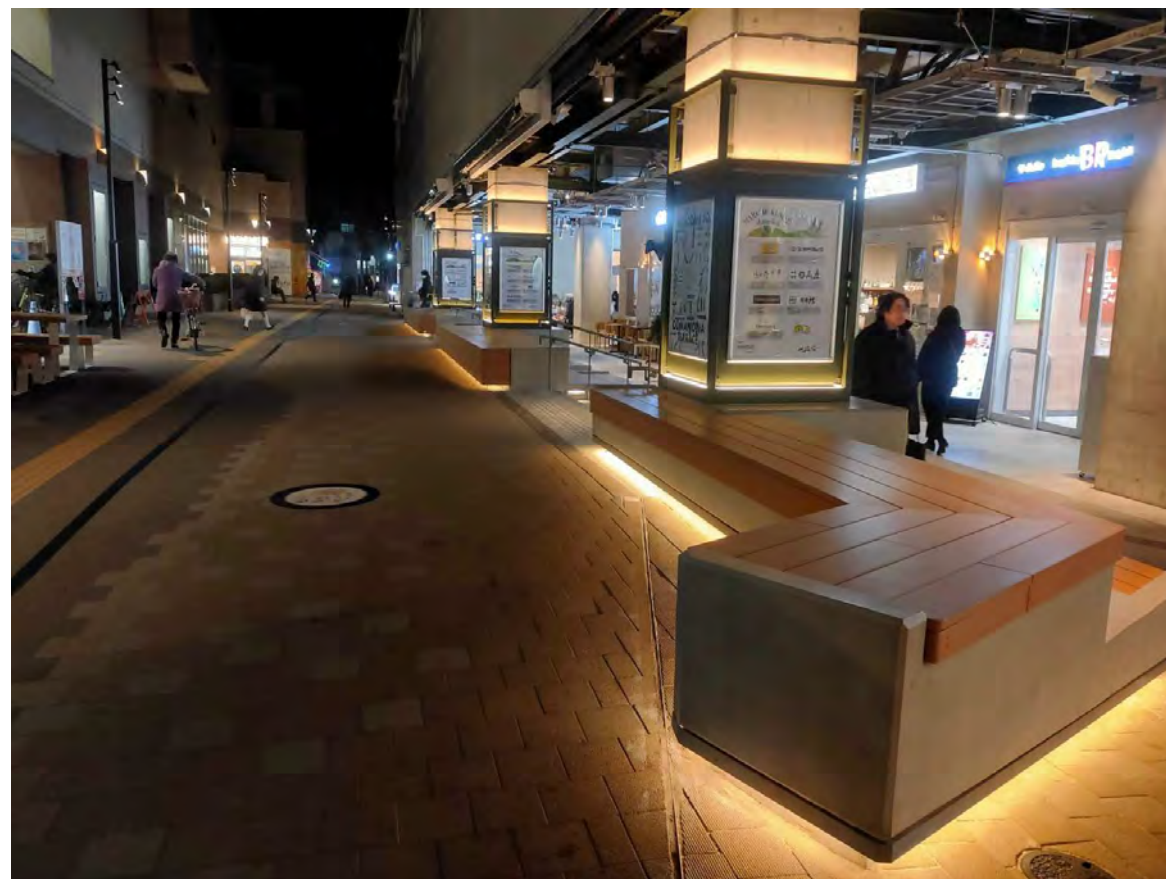
高架下商業施設に隣接したエリアの前後比較



Before(令和4年10月)



After(令和7年2月)



高架下商業施設と歩道部分のシームレスな境界線

小田急 → 狛江市
境界線



小田急 ← 狛江市
境界線

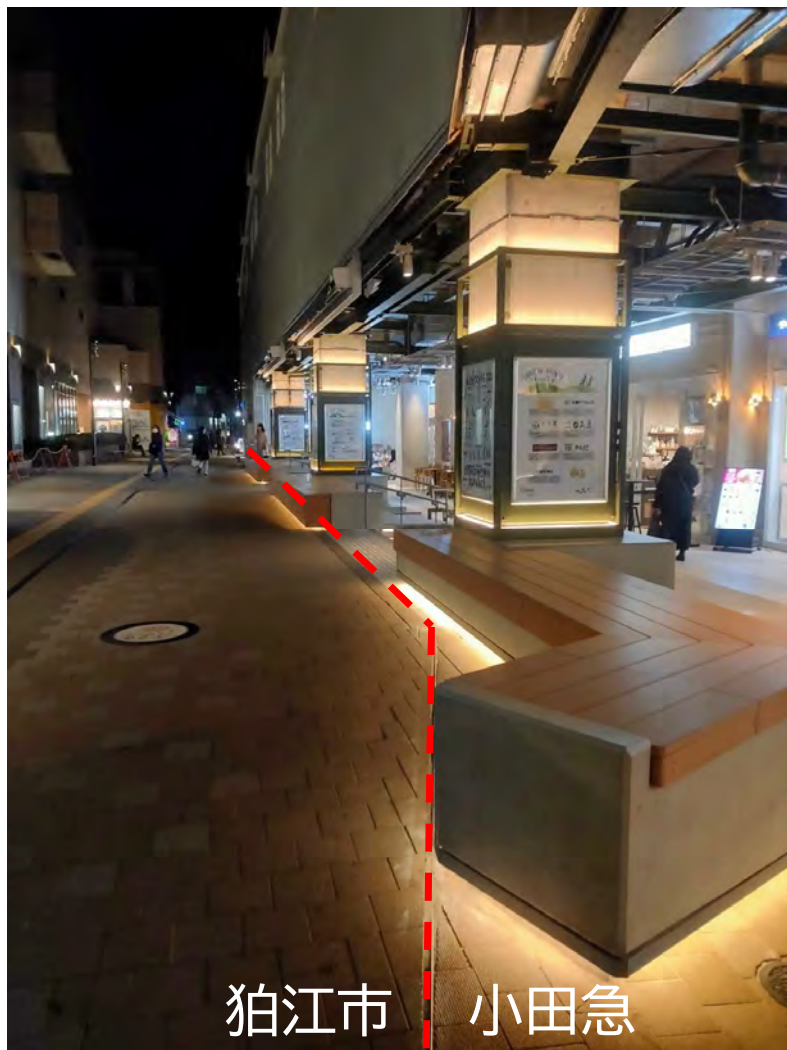
高架下商業施設と歩道部分のシームレスな境界線



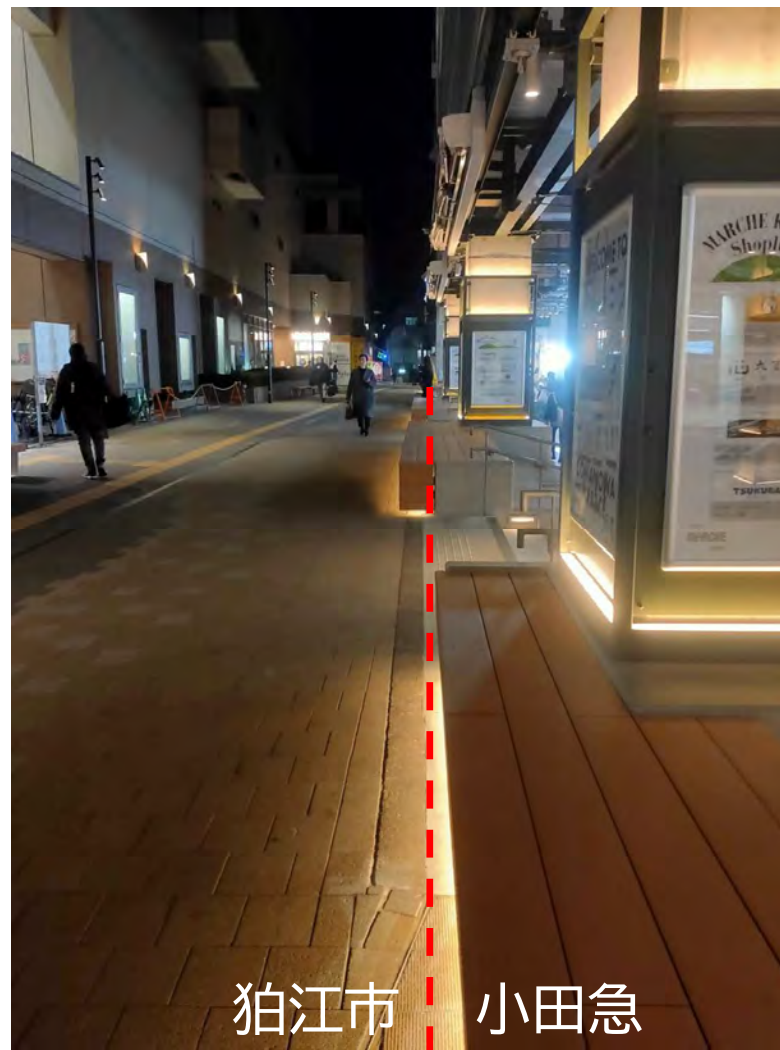
小田急
←
狛江市

境界線

高架下商業施設と歩道部分のシームレスな境界線



境界線

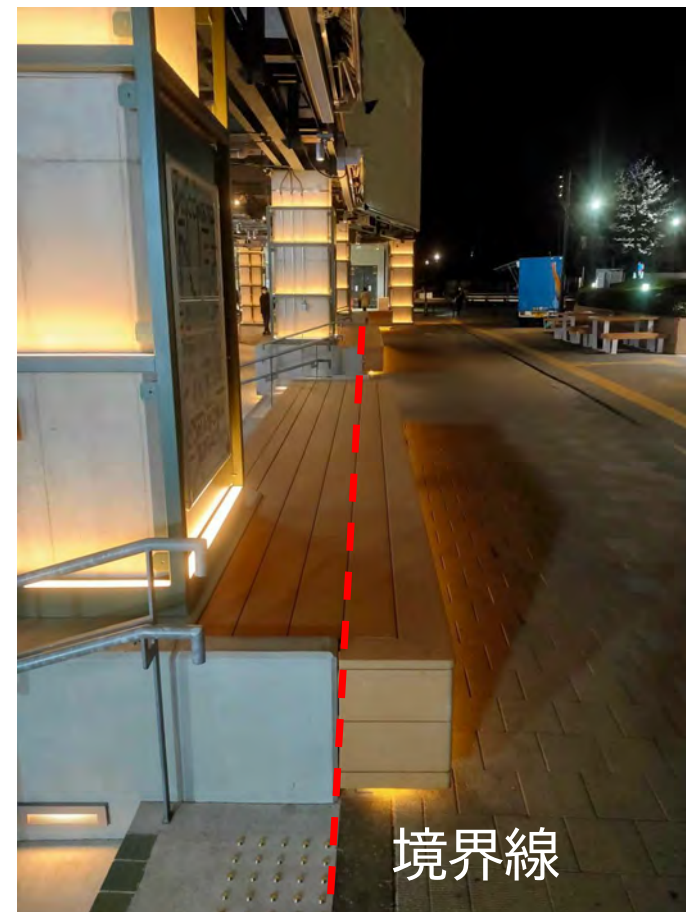


境界線

高架下商業施設と歩道部分のシームレスな境界線



小田急
→ 狛江市



小田急 ↑ 狛江市

ここで市民へのインタビュー動画をご覧ください。

狛江のほこみちで実現したい日常の光景とは

「まちの人たちが思い思いの時間を気楽に過ごせる、憩いと賑わいのある駅前空間」



キッチンカーで
テイクアウトして
ベンチでランチ

お昼



大人たちが
ビールを飲みながら
まったり過ごす。

夜



午前中

夕方

ベンチで
親子連れが
ひなたぼっこ

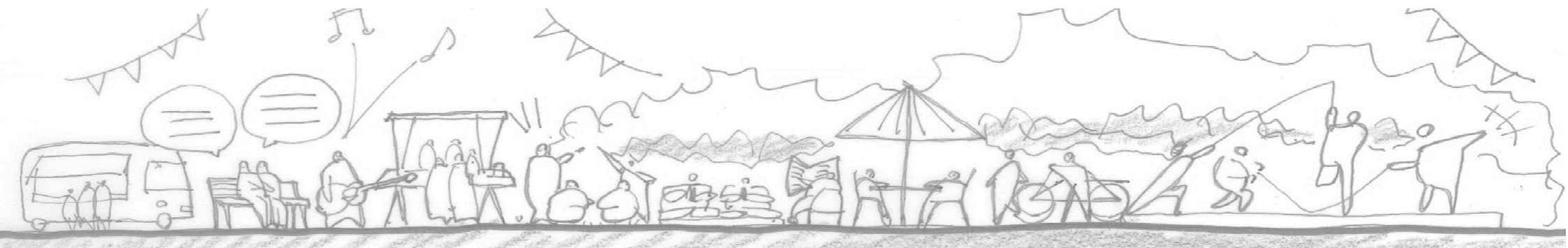


中高生たちが
友達同士で
学校帰りに
おしゃべりタイム



■ ほこみちプロジェクトについて

1. 「ほこみち」とは何か
2. なぜ粕江市はほこみちを導入したのか
3. 官民連携でのハード整備（ほこみちの作り方）
4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）



4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

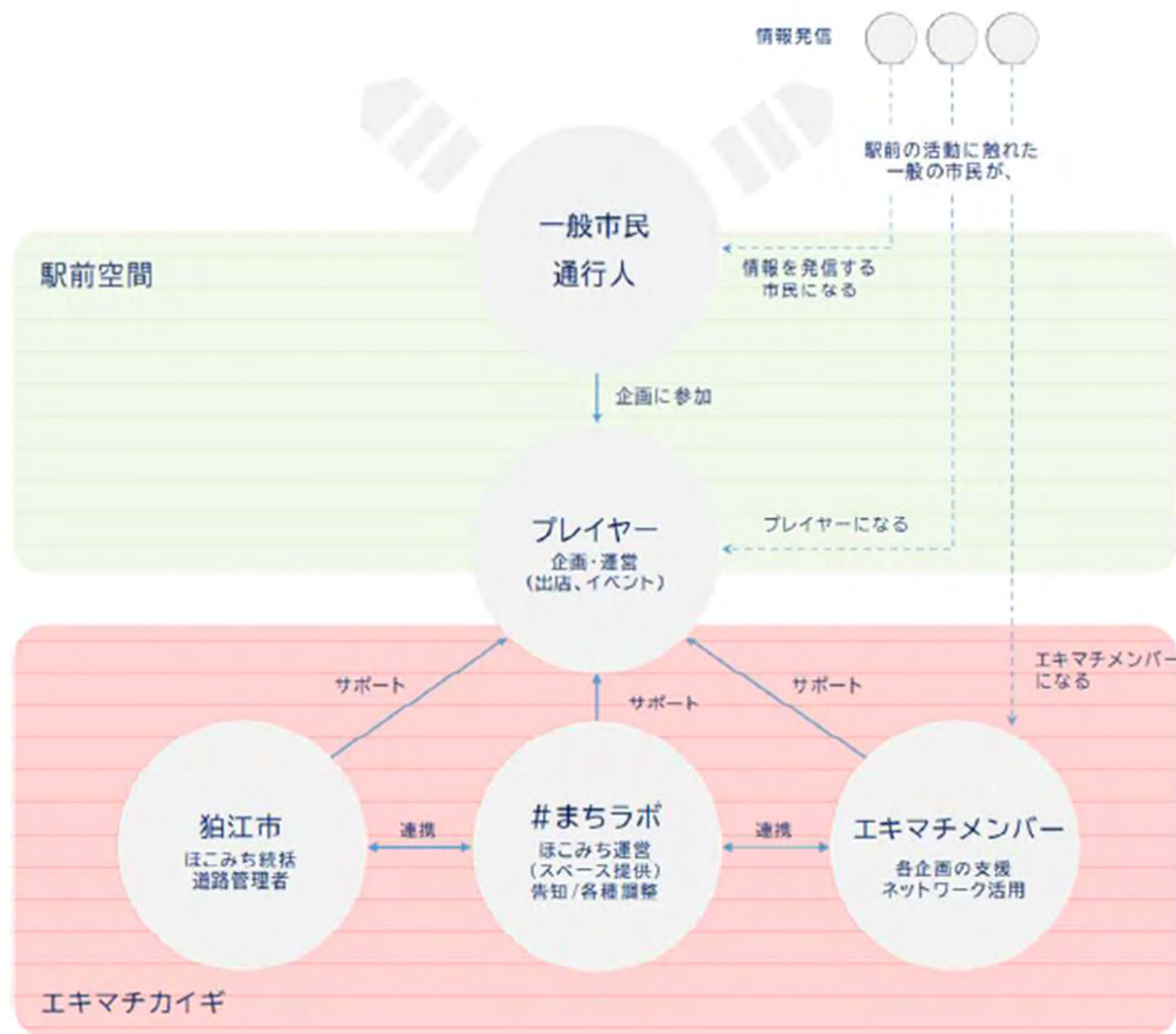
■エキマチカイギ（令和6年10月29日～）

- ✓ エキマチカイギは“オープンプラットフォーム”
- ✓ 地域の皆さんと一緒に、“未来ビジョン”を策定
- ✓ 狛江駅前空間を活用する人材の集積・ネットワークづくりに繋げていく



4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

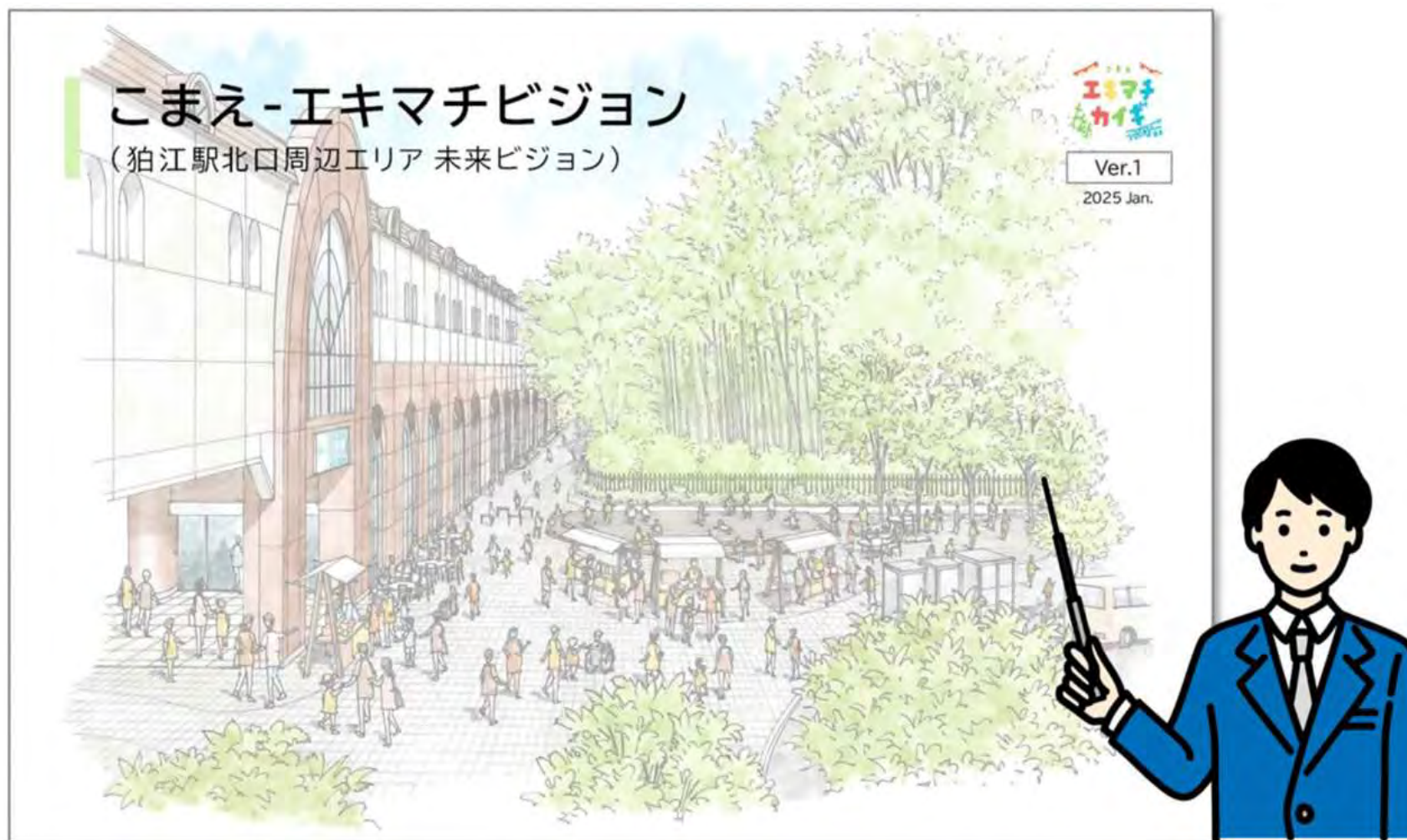
■ほこみちを活用するための仕組み「エキマチカイギ」の役割と概念図



- エキマチカイギは、狛江駅前の空間活用の「オープン・プラットフォーム」として、空間活用に関する情報を共有しながら、プレイヤーの育成・循環を図る組織（会議体）です。
- エキマチカイギでは、メンバーが相互に協力し、それぞれの役割をもってプレイヤーの活動をサポートすると同時に、エキマチカイギを通じて自らの活動領域である駅前空間の“デザイン”に参画します。
- 駅前での活動を見て、「私も駅前で何かやってみたい」「私にもできることがあるかな？」と感じ、何らかの形で駅前の活動に関わることで、空間活用のバリエーションが、より豊かになっていきます。

4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

■ 狛江駅前の将来像や役割を示した未来ビジョン「こまえ-エキマチビジョン」



4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

04 | 駅前エリアの将来の姿(コンセプト)

※「こまえ-エキマチビジョン」から一部抜粋

ひととまち、ひととひとがつながる狛江駅前。歩行者中心の居心地がよい空間で、狛江ならではの新しいコミュニケーション(シン・コミュニケーション)が次々と生まれ、その賑わいが狛江のまち全体に向かって滲むように広がっていきます。



4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

■ 狛江駅前のほこみちを活用するためのガイドラインと事例集

note

ほこみち

ほこみち

ほこみちのトリセツ

狛江駅前ほこみち運用ガイドライン
暫定版ver.2 (2024.10月改定)

"狛江駅前ほこみち運用ガイドライン
暫定版ver.2" ができました!

♡ 10

#まちラボ | 一般社団法人狛江まちみらいラボ
2024年11月7日 11:22



note

note

ほこみち

ほこみち

ほこみちのケーススタディ

狛江駅前ほこみち 事例集
(2024.11月初版 作成)

駅前ほこみちの"事例集"をつくってみました。

♡ 8

#まちラボ | 一般社団法人狛江まちみらいラボ
2024年11月22日 18:07

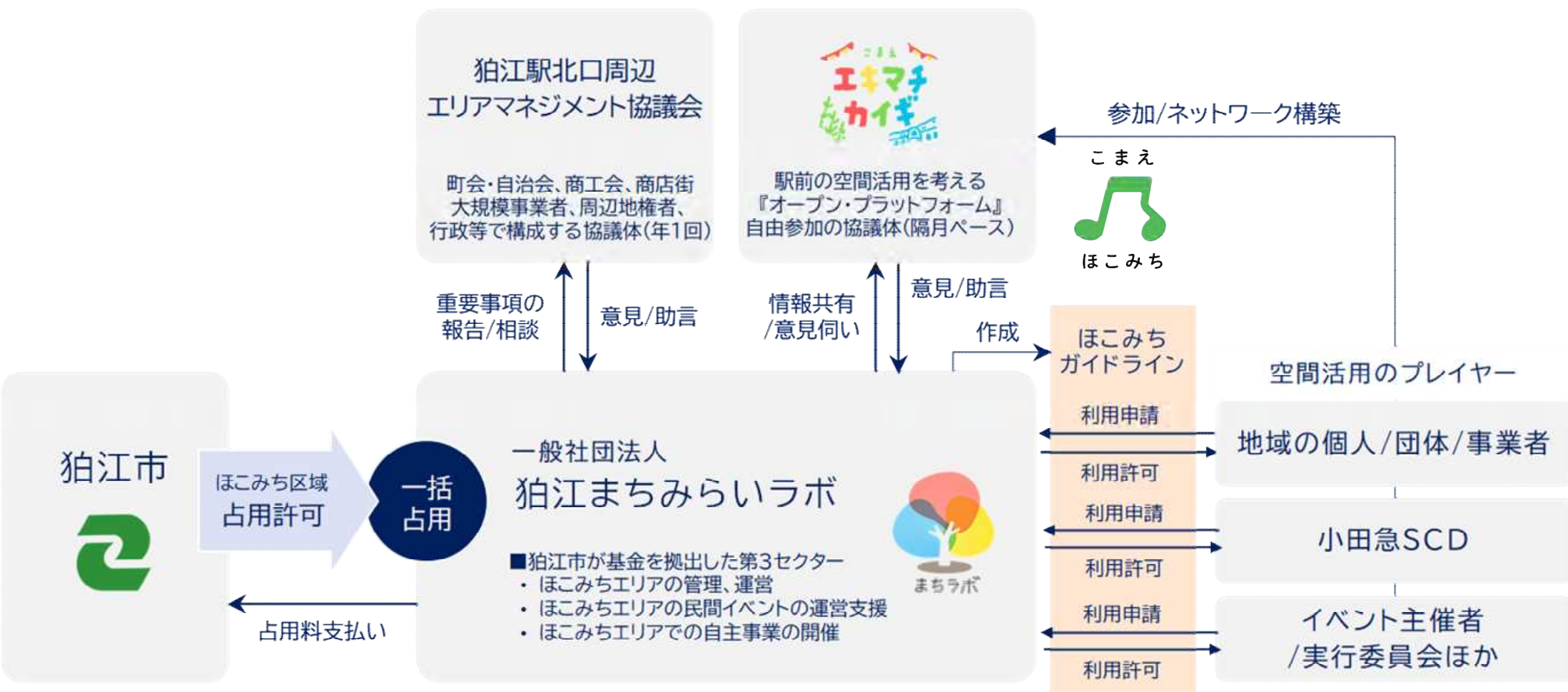


note

4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

■ほこみちを活用するための体制「狛江まちみらいラボ」の役割と関係性

(ステークホルダーへ報告) (プレイヤー育成・循環)



4. 市民中心のほこみちの運用と活用（道路の使い方）

- ほこみちの活用事例の紹介

キッチンカーマルシェ 令和6年4月



- ✓ 令和6年4月、ほこみちの運用を開始
- ✓ ランチタイムを中心にキッチンカーとオープンテラスを展開
- ✓ 狛江駅前の商業施設が大規模リニューアル工事中による“ランチ難民”を救済した



パンマルシェ 令和6年4月



- ✓ 令和6年4月と5月のランチタイムに市内のパン屋さんがほこみちに多数出店する「パンマルシェ」を企画
- ✓ 市内のお店を知るきっかけづくりと市内経済の循環に寄与
- ✓ 駅前新しいコミュニケーションの形が生まれた



えきまちマルシェ 令和6年6月



- ✓ 令和6年6月、手作りアクセサリや小物等を販売する市内外の個人事業主が多数出店する「えきまちマルシェ」を企画
- ✓ 駅前の公共空間における初の大規模なマルシェイベント
- ✓ 他エリアで出店しているお店からも狛江駅前のポテンシャルを感じていただけた



えきまちビアガーデン 令和6年6月



- ✓ 令和6年6月、市内のクラフトビール醸造所や飲食店が出店する「えきまちビアガーデン」を企画
- ✓ 駅前の公共空間における初のビアガーデンイベント
- ✓ ゲリラ的なイベントだったにもかかわらず、偶然に通りがかった人も多く利用いただいた。



ほこみちウェディングパーティー 令和6年11月



- ✓ 令和6年11月、議場結婚式にあわせて「アフターパーティー」を企画
- ✓ ほこみち初のウェディングイベント



ほこみちウェディングパーティー 令和6年11月



狛江駅「ほこみちウェディング」



ゴッホ「夜のカフェテラス」

あったマルシェ 令和7年1月



- ✓ 令和7年1月、小田急マルシェ狛江が主催
- ✓ 地域の銭湯やお店と一緒に企画立案
- ✓ 狛江のだ自慢大会
- ✓ ほこみちdeこたつ
- ✓ コーヒー無料配布



コーヒーブルーム 令和7年2月



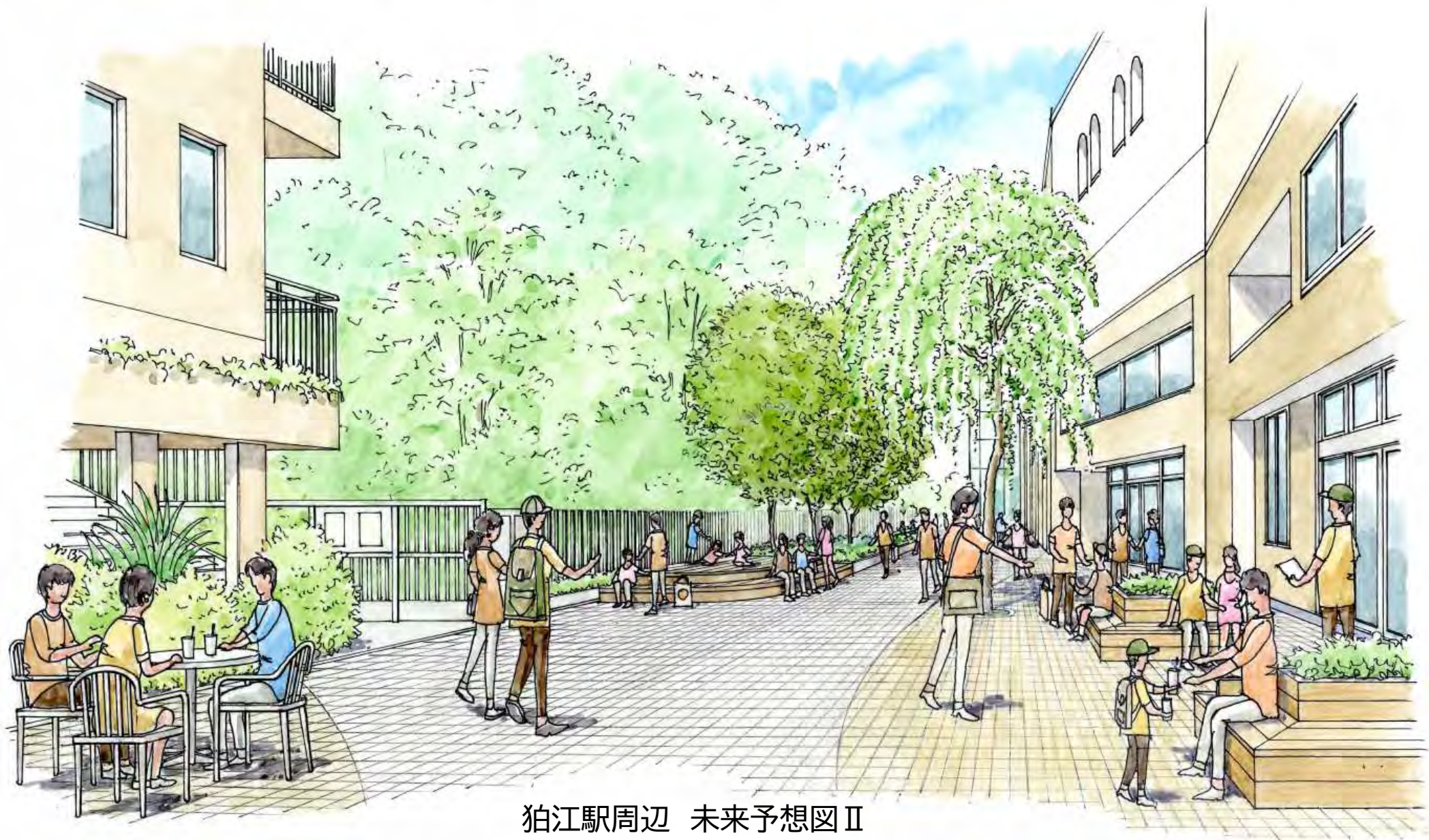
- ✓ 令和7年2月、コーヒー
- ✓ 市内のお店と地域の人たちを繋ぐコーヒーイベントとして、コーヒー店・カフェの店主たちによって企画・立案
- ✓ 市内5店舗が出店






こまえ
ほこみち

狛江駅周辺 未来予想図 I



狛江駅周辺 未来予想図Ⅱ



静けさに包まれた参道にそそぐ、朝の木漏れ日。
緑道の木々が教えてくれる、季節の移ろい。
通り慣れた道で交わす、いつもの挨拶。
街に響く、ランドセルを背負った子どもたちの声。
そんな何気ない日常が、私の心を満たしてくれる。

長く暮らすこの街で、普段はただ通り過ぎていた駅前が、
最近、少しずつ変わっている。
クレープを頬張りながら、楽しそうに喋っている学生たち。
ベビーカーでぐっすりと眠る赤ちゃんの横で、遅いランチを楽しむ家族連れの様。
近所のパン屋さんが出ていた、日曜日のマルシェ。

みんなが大切にしてきたものを守りながら、
今日もまた駅前に新しい景色が生まれている。

この街の変化は、ここから始まる。
新しい景色を自分らしく楽しむうちに、街の未来が動き出す。
もっとこの街を楽しみたい。新しいこまえに出会いたい。
だから明日も、ちょっと寄り道してみよう。

狛江市は、“ほこみち”を通じて、狛江駅前に賑わいと憩いの空間づくりを進めています。

こまえのほこみちで目指す姿は
市民の、市民による、市民のためのほこみち



市民が**主役**のほこみち



ほこみちをはじめてまだ1年で、まだまだ道半ばです。
まずは成功事例・失敗事例をたくさんつくることで
ほこみちの知見・経験が蓄積されていくと考えています。

■ 本講義のまとめ

「今後の都市空間のあり方について」

私が考える、まちの魅力を引き出す都市空間のあり方とは

都市空間に余白を、市民参加に関わり白を

私が考える、まちの魅力を引き出す都市空間のあり方とは

「ベッドタウン」から「リビングタウン」へ

私が考える、まちの魅力を引き出す都市空間のあり方とは

人口減少社会における「戦略的現状維持」

■ おまけ

狛江駅周辺のおすすめスポット



堀口珈琲 狛江店



籠屋 マルシェ 狛江店



中華そば しば田

狛江駅徒歩3分
狛江市役所裏手通り



狛江駅徒歩0分
小田急マルシェ 狛江



狛江駅徒歩1分
泉の森会館1階



狛江駅周辺のおすすめスポット

狛江湯

狛江駅徒歩3分
リノベ銭湯



銭湯 & サウナ
クラフトビール
ビアバー・サ飯



狛江情報はインスタマガジン企画『ヒトトキ・ヒトコマ』

Komae Instagram Magazine



狛江湯オーナー 西川隆一

狛江湯

狛江駅徒歩3分
銭湯&ビアバー

en_Sante
狛江駅徒歩1分
古着&ワイン

Komae Instagram Magazine



en_Santeオーナー 田中祐毅

Komae Instagram Magazine



GOOFYPHAT GALLERYオーナー 菊地勇太

GOOFYPHAT GALLERY

狛江駅徒歩2分
古着&雑貨

STEEP GRADE
SHARP CURVES
和泉多摩川駅
古着&雑貨

Komae Instagram Magazine



STEEP GRADE SHARP CURVESオーナー 清家未来



ご視聴ありがとうございました

まちがもっと面白くなる。

粕江まちみらいラボ

03-6775-4583

(担当：潤井、銀林)

